

平成 23 年 5 月 13 日

各 位

会社名 東京貴宝株式会社
 代表者名 代表取締役社長 中川千秋
 (JASDAQ・コード番号：7597)

問合せ先
 取締役
 役職・氏名 経営統括副本部長 染 未良生
 電話 03-3834-6261

中期経営計画見直しに関するお知らせ

本日の取締役会において、標記の件につき次の通り決定いたしましたのでお知らせいたします。

当社は、平成 22 年 5 月 18 日に「中期経営計画策定に関するお知らせ」を發表し、本年 4 月から 2 期目に入っております。周知のとおり、本年 3 月 11 日に発生した東日本大震災は東北地方を中心に未曾有の被害をもたらし、未だに復旧の目途も立たない状況であります。加えて、福島第一原子力発電所の事故は収束までに長い年月を要するものと考えられております。

当社では、そうした状況を踏まえ昨年策定した中期経営計画の見直しを行って参りました。平成 23 年 3 月期においては売上高・利益ともに若干見通しを下回ったものの、商品回転率の向上、経費削減等による収益力の強化、有利子負債の削減等において一定の成果を挙げたものと考えております。2 期目に当たる平成 24 年 3 月期においても順調に推移するものと考えておりました。

しかしながら、震災の影響、原発の事故による電力事情、放射能漏れの問題等収束の見通しが立っておりません。また、自粛ムードもあり、ともすれば不要不急の商品、贅沢品ととらえられがちなジュエリーへの影響は極めて厳しいものがあります。当社は催事販売を営業の主力と位置づけておりますが、震災以降の販売状況を見ても関東・東北地方を中心に売上の低下は避けられないものと考えております。中部以西の販売を強化し売れ筋商品の開発、経費削減等のあらゆる施策により業績の落ち込みを最大限回避したいと考えておりますが、平成 25 年 3 月期につきましては、当初計画を実現することは極めて厳しく、まったく見通しを立てることが出来ません。

従いまして、本日發表の「平成 23 年 3 月期 決算短信(非連結)」において、平成 24 年 3 月期の業績見通しを發表させて頂いたうえで中期経営計画を一旦白紙に戻し、新たに策定する場合には改めてお知らせいたします。

1. 参考(当初計画)

(単位：百万円)

	平成 23 年 3 月期	平成 24 年 3 月期	平成 25 年 3 月期
売上高	6,669	7,000	7,300
売上総利益	1,588	1,700	1,850
営業利益	164	180	250
経常利益	144	160	230
当期純利益	140	155	220

2.参考(実績及び計画)

(単位：百万円)

	平成23年3月期 実績	平成24年3月期 計画
売上高	6,261	5,652
売上総利益	1,308	1,272
営業利益	125	98
経常利益	63	64
当期純利益	130	62